

椎の木



3学期の学校経営について

3学期は以下のような方針の下、学校経営を進めていきたいと思えます。

＜1月職員会議にて校長より経営方針を職員に伝えました。＞

1 校長の願い

3学期は1年間のまとめの時期である。また、3年間の教育課程の集大成の卒業式がある。

東部中学校に入学をして、3年間仲間とともに勉学や特別活動、部活動に励み、心身ともに大きく成長した3年生が自分達の成長を振り返り、仲間や、家族、そして先生方、地域の方々へ感謝をし、次の旅への巣立ちの時である。全校で応援をし、激励をしたい。また3年生から引き継ぐ1、2年生に次へのステップの準備をさせたい。それが3学期の教育実践の柱になる。

しかし、時間はあっという間に過ぎるのも3学期である。先を見据えていきたい。生徒に寄り添い「声なき声を聴ける感性豊かな指導者」でありたい。日々の成長やがんばりを讃えていくことで、生徒はやる気を高め、自己肯定感を持つことができる。

2 具体的に目指すこと

＜3年生に願うこと＞

3年生は受験期になる。当然自分のことで精一杯になり、不安やいらだちも生まれる。そんな不安定な気持ちも、「大人になるためのひとつの試練」ととらえさせ、皆で励まし乗り切らせたい。委員会活動が停滞したり、歌声に勢いがなくなる時でもある。しかし受験という流れに漂うことなく、毎日の皆で生活をする時を大切にさせたいし、誇りを持って東部中学校を卒業させたい。

3年職員のみならず、全校の職員が3年生に関わり、声をかけ励ます、その気配りが3年生のモチベーションを高めることになると考える。

- ① 毎日の生活を大切にさせる。3年間の義務教育の集大成の時として、生活の向上を目指す。
- ② 後輩に何を残して巣立つのか、考えさせ、伝えるべきことはシスター活動や学年交流を通じてしっかりと伝えていく。
- ③ 小学校との交流活動を通して、東部中の良さを小学生に伝えていく。
- ④ 3年生を送る会を「生徒自身がつくる激励の会・感謝の会」と位置づけ、卒業式は儀式の部と巣立ちの会の2部構成にし、巣立ちの会では「感謝と巣立ち」をテーマに保護者と対面をして発表する。

＜2年生に願うこと＞

全校のリーダーとして、東部中学校の顔としての存在位置をさらに自覚をさせたい。基本は生徒の意見をうまく活動に取り入れ、がんばりを褒め、次の目標を持たせたい。仲間関係を育てていく中でリーダーの意識をフォロアーへと広めていきたい。

委員会の活性化はどの委員会がどんな願いの下どのような活動をし、その活動をどう評価していくかにかかる。基本は話し合いによる振り返りである。点検活動ばかりに頼っていると、点検がなくなると、活動は停滞することになる。常に活動の基礎となる仲間関係を分析し、より太い絆に育てるためにはどのような支援をしたらいいか、考え実践したい。それが学級経営力になる。

- ① 生徒会本部役員の提案した「あいさつ」をさらに本物を目指したい。まずは教師が模範。教師が「元気なあいさつをしなくて生徒に求めることはできない。」凡事徹底である。常に生徒の良さを見つけ褒める。次に生徒の相互評価に高めていきたい。
- ② 委員会活動による生活作りは教職員の共通理解で進める。3学期は「授業がポイント」である。生徒はどんな授業を望んでいるのだろうか？教師はどんな授業にしたいのだろうか？「啐啄同時」という言葉がある。生徒と教師の願いが一致し、ともに力が結びついた時に、最高の授業、最大限に効果のあがる指導ができるのではないだろうか。
- ③ 生徒の意識に東部中の伝統を継承したいという気持ちがある。それを大切にしたいし、次に「自分たちで新しい東部中をつくる」という意識も大切にさせたい。自分達の代でこのように学校を高める。そういう気持ちを大切にさせたい。

＜1年生に願うこと＞

1年生は先輩としての意識を育てたい。「どんな先輩になりたいのか？」自分のあこがれた先輩はどんな先輩だったのか？そこには「信用される、好かれる、尊敬される先輩になりたい」という願いがあると考え。そのためにこの3ヶ月どんな生活を送るのか、考えさせたい。2学期からリーダー会を通じて取り組みを考え、評価をし、生活の向上を試みてきた。着実に成果もあがった。3学期はフォロアーの意識も高めたい。「リーダー会で決まったからやる」ここから「自分たちで決めたのだ」という意識へ高めていきたい。自治力の育成である。

- ① 授業への取り組みにさらに一工夫考えたい。時が過ぎると活動は低下する。生徒自身がどんな授業にしたいのか、先生はどう願っているのか。共通の願いの下進めていきたい。
- ② 自分たちで工夫する清掃
「廊下磨きがこころ磨き」「こころ磨きはじぶん磨き」廊下を一生懸命に磨く姿は「まじめさの表れ」と評価をしていきたい。そして自分達独自の清掃方法できれいにする発展的な清掃をつくりあげたい。

＜人間関係調整力の育成を目指す＞

本校の課題として、人間関係のこじれ等を自分で調整する力が弱いことがある。基本は好き嫌いで相手を判断しないで、広く理解する。誠意を持って話をする、話を聞く。トラブルがあったときにどう対応したらいいか理解し、実践できる人間関係調整力を身につけさせたい。

3年生を送る会に向けて

生徒会本部役員 坂元 ちひろさん

お世話になった3年生との生活も残りわずかです。3年生に感謝の気持ちを伝え、新しい門出を激励するのが3年生を送る会です。今までにない最高の会にしたいです。そのためにも委員会と連携し協力していくことが大切ですが、1、2年生の協力と想いが大切です。1、2年生は3年生が安心して後輩に東部中を託し、卒業できるようにするために、一人ひとりが伝統を受け継ぐことを自覚し、毎日の生活をしっかりとしたものにし、中身のある発表にしていくことが大切であると思えます。

3年 山崎 陽菜さん

3年生を送る会の準備が始まり、卒業まで40日を切りました。1、2年生の取り組みに感謝します。いよいよ私立入試も始まりました。でも学年の様子はまだ意識が低く、授業中の集中度は個々に差があります。1月はこれを課題にして、授業の3分前に着席をし、事前学習をしていきます。これから学年全員がそろそろ日もすくなくなるので、みんなで励まし合いながら1日1日を大切に、進路を乗り切り、充実した時を過ごしたいと思えます。

インフルエンザが流行しています。健康管理には十分ご注意ください

2年生を中心にインフルエンザが流行しています。流行を防ぐために、2学年は17日・18日と学年閉鎖の措置をとりました。うがい手洗い、早めの休養等健康管理には十分ご注意ください。